

ムーンショット型研究開発事業  
横断的支援（数理科学）研究開発課題公募 採択結果について

JST では、内閣府の定めたムーンショット型研究開発制度の運用・評価指針に則り、ムーンショット目標及び研究開発プロジェクトに対して数理科学や倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI : Ethical, Legal and Social Issues）等の分野横断的な支援を行っています。

分野横断的支援の一環として、目標2及び6の研究開発プロジェクトにおいて数理科学的アプローチを用いた研究開発課題及びその実施を担う課題推進者を募集しました。数理科学分科会委員により書類審査及び面接審査を行った結果、3件の採択が決定しました。

採択結果については以下の通りです。

1. ムーンショット目標2「2050年までに、超早期に疾患の予測・予防をすることができる社会を実現」（プログラムディレクター：祖父江 元）  
研究開発プロジェクト「複雑臓器制御系の数理的包括理解と超早期精密医療への挑戦」（プロジェクトマネージャー：合原 一幸）

提案された研究開発課題名	課題推進者名
オミクスデータの記号学的分類を可能にする数理研究	飯田 湊太（大阪大学 蛋白質研究所 細胞システム研究室 助教）
疾患表現型のマルチオミクス解析に向けた「かたち」のフェノーム数理解析	野下 浩司（九州大学 理学研究院 生物科学部門 助教）

2. ムーンショット目標6「2050年までに、経済・産業・安全保障を飛躍的に発展させる誤り耐性型汎用量子コンピュータを実現」（プログラムディレクター：北川 勝浩）  
研究開発プロジェクト「誤り耐性型量子コンピュータにおける理論・ソフトウェアの研究開発」（プロジェクトマネージャー：小芦 雅斗）

提案された研究開発課題名	課題推進者名
高次元相場の理論による量子最適化への挑戦	山崎 雅人（東京大学 カブリ数物連携宇宙研究機構 准教授）